

宮野泰氏講演会

# 「キルギス抑留 タムガ村600日」

遙か遠く中央アジアの小国に、2年間抑留された新発田出身20歳の青年がいた。

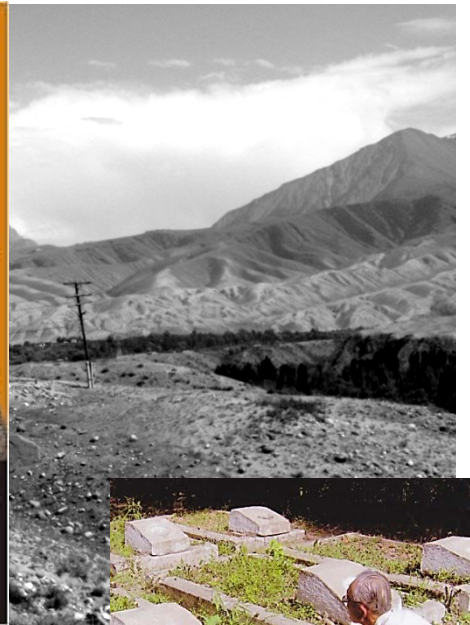
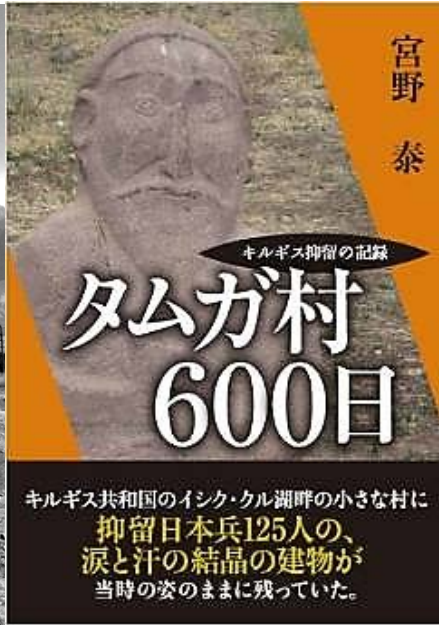
平成27年 **3/14(土)13:30-15:00** 於図書館3階会議室  
第1部 宮野泰氏講演 第2部 宮野氏ほか3名によるパネルトーク



中央アジアの小国「キルギス」の人口800人ほどの小さな村、タムガ村。ここは第二次大戦終戦直後、新発田出身の日本兵宮野泰さんがソ連軍の捕虜として収容されていた場所。

厳しい環境下、124人の仲間とともに耐えた療養施設建設の強制労働。そして60年の時を経て再訪し現地で昇華した思い…。

今年89歳になる宮野氏から、貴重な体験と平和への思いを語っていただきます。



みやのやすし

【宮野泰氏】大正15年、北蒲原郡川東村(新発田市)大友に生まれる。

新発田中学校を経て、満州国立建国大学に入学後、在学中の昭和20年に満州部隊へ現役入隊。昭和23年ソ連抑留から解放され帰国。

平成25年、「タムガ村600日 キルギス抑留の記録」を新潟日報事業社より出版。

>>ご希望の方は、事前のお申し込みが必要です<<

\*定員 60名 (定員になり次第締切ります)

\*申込受付 2月24日(火)から開始(月曜日除く) 9:30 ~ 18:00

\*申込先 図書館カウンター 又は 電話 **22-3101** まで

同時開催 関連企画 「そしてタムガへ」展

3/10(火)~29(日)月曜休館 9:30-18:00 図書館1階 坪川記念室

宮野氏撮影のタムガ村の写真や資料など、多数展示します。また、戦前の※郷土映像も上映します。講演とあわせて、ぜひご覧ください。

※映像協力・収蔵元/にいがた地域映像アーカイブス